

## 平成17年度 市民活動推進補助金選考委員会 会議録

【と き】	平成17年6月21日(火) 13:30～16:00		
【と ころ】	会議室棟202会議室		
【出席者】	11名		
出席委員	平塚委員、手塚委員、渡辺委員、熊谷委員	【全委員5名のうち4名出席】	
欠席委員	益永委員		
オブザーバー	伊藤さん【玉川まちづくりハウス】		
推進委員	木之下委員【傍聴】		
事務局	市民活動課：篠田市民活動課長・北島・小山・鈴木・小林		

### 1. 平成17年度 市民活動推進補助金の応募について【資料1】

事務局：小林より、資料1【平成17年度市民活動推進補助金 応募一覧】に基づき説明。

めばえが2件、はぐくみが1件の応募を頂いている。

各団体の資料はお渡ししているので、応募者、事業の名称、事業の内容、事業費等について説明。

6月15日に市民活動課ホームページ、窓口で応募用紙を個人情報を除いて公開している。

### 2. 補助金選考の基準について【資料2】

事務局：小林より、資料2【市民活動推進補助金選考基準】に基づき説明。

昨年度からの経過を説明。

推進会議で作られた「社会資源ガイドライン」で、下記の1から5までを考慮としている。

1. 意欲 2. 使命(ミッション) 3. 活動の広がり 4. 実現性 5. 発展性

昨年度は、下記の項目( が付いている項目)を選考の比重をおく項目としていた。

「選考のポイント」	選考の基準とすべき項目	前年度比重項目	
		めばえ	はぐくみ
1. 意欲			
2. 使命(ミッション)	・新しい公共性(地域に役立つ活動)		
	・社会資源の提供・活用(発見)		
	・非営利		
	・多様な価値観を認める		
3. 活動の広がり	・社会貢献		
	・先駆性		
	・創造性		
4. 実現性	・連携の可能性		
	・費用の妥当性		
5. 発展性	・継続性		
	・発展性		

「 」は、部門別に比重をおく項目。

「めばえ」 3. 活動の広がり(先駆性、創造性) 5. 発展性

「はぐくみ」 2. 使命 3. 活動の広がり(連携の可能性) 4. 実現性

今年度について、昨年度に比重をおいた項目で選考するのか、新たに選考基準を設けるのか、検討し決定をお願いしたい。

【委員意見】

(選考委員) 4月24日の報告会の時に、前年度交付した団体の選考した項目を評価・確認出来なかったことが残念であった。選考した項目に対する評価の報告が欲しい。

(選考委員) 新しく項目を増やしてしまうとボヤけてしまうので、逆に減らしてもいいと思う。

(選考委員) 項目を増やすことではないが、めばえにも「新しい公共」に比重をおくのはどうですか？

(選考委員) 補助金の事業、団体がこの制度を経て、協働事業につながっていくといい。

【決定事項】

出席委員により、今年度の選考基準を検討した結果、選考の基準とすべき項目は、前年と同じとし、めばえの選考に比重をおく項目として、新たに「新しい公共性(地域に役立つ活動)」を加え、次のとおり決定した。

「めばえ」	2. 新しい公共性(地域に役立つ活動) 3. 活動の広がり(先駆性・創造性)
	5. 発展性
「はぐくみ」	2. 使命 3. 活動の広がり(連携の可能性) 4. 実現性

3. 公開選考会について

(1) プログラム案について【資料3】

(2) 会場レイアウトについて【資料4】

玉川まちづくりハウス:伊藤さんより、

(1) プログラム案について資料3【公開選考会プログラム案】、

(2) 会場レイアウトについて資料4【会場レイアウト案】に基づき、同じく、伊藤さん、事務局が説明。

・今回は、1事業につきプレゼンテーション10分、質疑に10分と時間をとっている。

・ほぼ昨年と同様のプログラムを作成しているが、応募が少なかったため、第1次選考、第2次選考の形はとっていない。

・新たなプログラムとして、助成をうけることになった申請者から、これからの活動について一言もらう点をいれた。

【委員意見】

(1) プログラム案について資料3【公開選考会プログラム】

(選考委員) プログラム案のとおりでよい。

(選考委員) 会場からの意見を聞くプログラムを加えることはどうですか？

(2) 会場レイアウトについて資料4【会場レイアウト案】

(選考委員) 選考委員のテーブルを少し斜め【ハの字】に。

【決定事項】

(1)プログラム案について

出席委員により、プログラム案に検討した結果、資料3 プログラム案のステップ1の基金の主旨説明は事務局。委員長のあいさつの中で、選考基準を話してもらう。ステップ3に参加者の意見を入れるプログラムを加えて、当日のプログラムとすることに決定。

【修正されたプログラムは、選考会までに委員の送付する】

(2)会場レイアウトについて

出席委員により、会場レイアウトに検討した結果、選考委員のテーブルを八の字に設置。あとは、資料のとおりでレイアウト。

【ただし、当日レイアウトは、現場合わせ変更の場合あり】

4. 公開選考会の参加者への配布資料について

事務局: 小林より、選考会当日に配布する資料について選考委員に確認。

- ・委員で検討し、応募団体の個人情報を除いた応募書類一式と選考会当日の説明資料を当日の配布資料とすることが確認された。

5. 今後のスケジュールについて

事務局: 小林より、今後のスケジュール資料5【平成17年度スケジュール資料】に基づいて説明

- ・選考の結果、交付が決定した場合、8月上旬に補助金の交付予定。
- ・来年度、補助金の報告会を実施する。来年度は、協働事業の報告会と分けて実施を考えている。
- ・この補助金制度が、活動団体の発展性、自立のための応援という趣旨をもっているため、今年度から、交付団体の見守り、成長の支援という視点での中間報告に加え、事業取材等の実施を考えている。
- ・今年度は、事務局が交付事業について現場の活動を確認。選考委員にも、事前に各団体の事業を案内し、可能であれば現場確認を行う。

【委員意見】

(選考委員) どのような形でお金が使用されているのか、使い道を知る必要はあるので必要なことであると思う。

6. その他

(選考委員) この補助金制度は、行政側に執行しやすい制度になっているので、市民団体のためと考えるなら、2、3月に選考会をしてもいいと思う。行政の制度上、難しいが市民団体が使いやすい制度になることが望ましいと思う。

(選考委員) 今年度、3件だった敗因を分析したい。4月24日の報告会が不調だった。報告会では、きちんと話がしたかった。

(事務局) 昨年度よりも幅広く広報したが、結果少なかった。また、昨年度は、協働事業に漏れた団体の申請があった。

(選考委員) 補助金事業、協働事業提案のどちらの事業に申請したら良い事業なのかわからない団体があるのではないかと。

(オブザーバー)1交付につき、支出金額を多くしたらどうか？

以上、6.その他 での意見交換

【記録：市民活動課市民活動支援担当 コバヤシ】